

苫中央、鶴川、駒苫が代表

南大会来月3日開幕

2020
夏の高校野球大会

室蘭支部

最終日の26日、とましんスタジアムでA、B、Cブロックの代表決定戦3試合

を行った。東胆振・日高勢は苫中央が苫工を3-0で、鶴川が浦河を5-0で、駒大苫小牧が道大谷室蘭を2-0でそれぞれ下し、8月3日に札幌円山球場で開幕する南北北海道大会への出場を決めた。

苫中央はエース根本(3年)が14奪三振で苫工を完封した。鶴川は一回一死一、三塁で佐々木隼(3年)の

中前適時打で先制するなど打線がつながった。駒大苫小牧は北嶋(3年)の14奪三振の力投で道大谷室蘭との投手戦を制した。

(竹田菜七、仲沢大夢)

▽Aブロック代表決定戦

苫工	00000000000000
苫中央	000200100000X0
鶴川	00000000000000
浦河	000100000000X0
駒大苫小牧	00000000000000
道大谷室蘭	00000000000050

▽Bブロック代表決定戦

鶴川	00000000000000
浦河	00000000000000
駒大苫小牧	00000000000000
道大谷室蘭	00000000000000

▽Cブロック代表決定戦

苫工	00000000000000
苫中央	00000000000000
鶴川	00000000000000
浦河	00000000000000
駒大苫小牧	00000000000000
道大谷室蘭	00000000000000

◇室蘭支部
(とましんスタジアム
=苫小牧緑ヶ丘球場)

<Aブロック>

栄	5-0
道えり	10-0
苫中	3-0
苫老	7-1
白富	9-2
伊達	9-0

<Bブロック>

川	9-0
別	4-2
青	5-0
室	11-8
静	11-1
東	
翔	
河	

▼要所締め流れ呼ぶ 鶴川のエース稲葉(3年)は、7回3分の2を緩急を付けた投球で無失点に抑えた。再三走者を背負つ

たが「勝ちにつながる投球を意識した」といい、要所を締める内容で試合の流れを呼び寄せた。

代表決定戦で戦った相手は練習試合などで交流の深い浦河。「グラウンドは戦



場。手の内を知っているからこそ強気にいけた」と振り返る。

夏の甲子園につながる大会は中止となったが、代替大会で南北北海道大会に駒を進めた。「いつもの年なら甲子園に行くのにふさわしいチームとなるよう、優勝したい。部員との横や縦のつながりを生かして戦いたい」。寮生活を通して培ったチーム力を前面に出しての健闘を誓った。